

オーストラリア アデレード大学春期語学研修

管理栄養学科
3年 K.N.さん

アデレードでの生活

私は今、オーストラリアのアデレードに語学留学中です。アデレードは東京のような大都市ではなく、中心部に大学、職場、買い物、学生の遊ぶ場所があり、その周りに住宅街があります。アデレードは、車を30分強走らせるとどこにでも行くことができる小さな町です。日本のsuicaの代わりにメトロカードを使って学校に通学していますが、そのカードはとても便利で、定期のようなものを買ったら通学以外の通路も無料で行き来することができます。

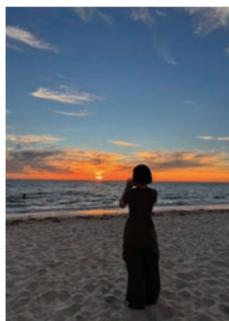
授業は週5日間4時間授業で9時から13時まで行われ、朝、授業がある時は7時に起きて8時半に家を出て学校に行きます。授業の終わりに大学のキャンパスで昼食を取ったり、ショッピングをします。午後には授業がある日は変わらず7時に起きて30分ランニングしたり、無料の英会話レッスンを受けに行ったりしています。

私が海外に行って気づいたことは、もっと自信を持っていいということ。もっと自分のしたいこと思ったことを伝えていいということ。そして、日本食のおいしさです。今までの自分は間違いが怖くて、間違えたら周りの人はどう思うだろうという不安を抱えて、自分の意見を言えませんでした。英語の授業の中ではたくさんプレゼンテーションがあり、みんなの前で間違いをする機会も増えました。そんな中、私の周りの人を見てみると間違えても「あ、そっか」という感じで気にせず、さらに、自分が第三者になって間違えた人を見て「ナイストライ」と心の中で言っている自分に驚きました。英語を覚えるために間違いは良い調味料みたいなものだと思います。

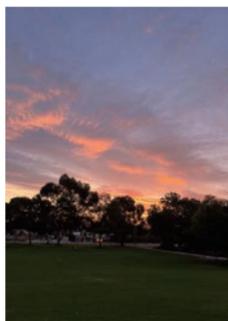
日本食には野菜本来の味を楽しむ素朴な食べ物もあれば濃い味付けの食べ物も豊富にあります。私のホストファミリーは味

付けの濃い食べ物が好きな傾向があり、ご飯には味付けの濃い食べ物が多く出てきます。私も味付けの濃い食べ物が好きなので問題はないですが、ふとした時に日本食の素朴な味わいがする料理を食べたくになります。アデレードでは日本食レストランに行くと1人5000円はかかってしまうほど高いのに、それほどおいしくありません。そのため、調味料をスーパーマーケットで買い足し、時々食事を作っています。海外ではインドカレーとは違う日本のとろっとしたカレーや、照り焼きチキン・唐揚げが人気で、先日は照り焼きチキンをホストファミリーに作ってあげて喜ばれました。

気が付けば、もう留学期間の半分が過ぎました。残りの時間も大切に過ごしていきたいと思っています。



クラスメイトとブライTONビーチヘサセットを見に行った時



家の近くから撮ったサンセット



クラスメイトとそのホストファミリーが開いてくれたバーベキューパーティー



学校の近くでできた仮設遊園地にクラスメイトとそのホストファミリーで行った時



動物との距離が近いと話題のワイルドライフパーク動物園

キャンパス内で行える！国際交流
どなたでも参加可能！！

イベント情報

国際交流イベント

インターナショナルカフェ(6月・10月)

香港、中国、韓国、台湾、インドネシア出身の留学生と在籍生がさまざまなテーマについて語り合う異文化交流会を行います。6月は「マイ・ルーティン〜今日どう過ごす?〜」をテーマに学生同士で盛り上がりました!

国際料理教室(11月)

11月に本学留学生が講師となり、母国の料理を紹介いたします。一緒に多国籍料理を調理してみましょう!今年からはアジア料理に挑戦予定です。

海外研修イベント

春期の研修説明会(10月)

春期に実施する海外研修に関する募集説明会を実施します。長期語学研修を始め、短期英語研修や児童・栄養・服飾美術に関する専門研修について説明会を実施する予定です。

帰国報告会(10月~11月)

夏期に実施した海外研修の帰国報告会を実施します。研修に参加した学生が研修での経験談や学びを発表します。



イベントの詳細は
Instagramを
ご覧ください!

東京家政大学グローバル教育センター



板橋キャンパス 16号館 2階
開室時間: 平日 9時から17時
土曜日 9時から12時
問合せ: 03-3961-1861

海外研修 現地からの声

カナダ マニトバ大学春期語学研修

英語コミュニケーション学科
2年 S.K.さん

留学したからこそ学べるもの

私は現在、カナダのマニトバ州・ウィニペグ市というところで英語を学んでいます。英語のクラスは Reading・Writing・Listening・Speaking の4つのセッションに分かれていて、中国や韓国、チリ、フランス、ウクライナなどさまざまな国の人と一緒に勉強しています。3月に到着した時はまだ雪が降っていて寒かったのですが、現在は暖かく過ごしやすい気候になりました。放課後は、クラスメイトと大学の図書館で勉強したり、学校が提供しているアクティビティやクラブ活動に参加したりしています。マニトバ大学は日本語と英語の言語交流クラブがあるので、日本の文化に興味がある学生と話すことができている。週末は市内を観光したり、現地の日本語学校でボランティアもしています。

留学前は、授業についていけないか、友達ができるかなど、不安なことが沢山ありました。しかしグローバル教育センターの方や友人、家族などさまざまな方にサポートしてもらい、留学に向けてしっかりと準備ができたからこそ、今の

充実した生活を送れているのだと思っています。カナダは自然が豊かな国なので、ウィニペグでは運が良ければオーロラが見られる時もあります。家や学校の周りには大きな公園が沢山あり、シカやウサギ、リスなど日本ではなかなか見られないような動物にも遭遇することができます。

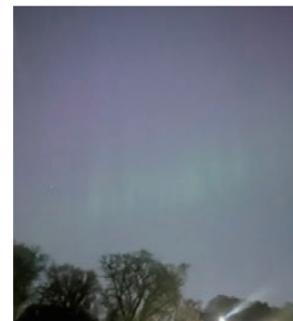
このような毎日を過ごしていると、日本との違いがたくさん見つかります。例えば、ウィニペグにはとてもフレンドリーで親切な方が多いです。このことをホストマザーに話したら、「ウィニペグの夏は30度、冬は-40度という厳しい環境のため、昔から人々が助け合いながら暮らしているのが関係しているのではないかと」言われました。こうした環境や歴史的な背景などに基づく文化の違いは教科書などではなく、留学でその人々と交流したからこそ学べたことだと思っています。残りの数カ月も一日一日を大切に、1つでも多くのことを学べるように頑張りたいと思っています。



マニトバ大学のメインビルディング



ウィニペグにあるカナダ人権博物館



ウィニペグで見たオーロラ



友達の誕生日パーティー



ボランティアをした日本語学校で作ったかぶと